

診療グループ名
レジメンセット名称

すい臓がん
72 nabPTX + GEM

投与規定

インターバル日数 (28)日
レジメン基準日 day(1)

通しNo	癌	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	day(1)	day(2-7)	day(8)	day(9-14)	day(15)	day(16~28)
		大塚生食注	100 mL		ラインキープ用		●		●		●	
No.1		大塚生食注 デキササート注射液	50 mL 6.6 mg	末梢・CV	メイン①	30min	●		●		●	
No.2		大塚生食注	50 mL		メイン②	全開	●		●		●	
No.3	◆	アブラキサン点滴静注用 大塚生食注(1V辺り生食20mLで溶解)	125 mg/m ²		メイン③ フィルター使用不可	30min	●		●	休業	●	休業
No.4		大塚生食注	50 mL		メイン④	全開	●		●		●	
No.5		大塚生食注 ◆ ゲムシタピン点滴静注液	100 mL 1000 mg/m ²	末梢・CV	メイン⑤	30min	●		●		●	
No.6		大塚生食注	50 mL	末梢・CV	メイン⑥	全開	●		●		●	

上記にて設定する抗がん剤について

通しNo	薬品名・規格	標準値	上限値
No.3	◆ アブラキサン点滴静注用	125 mg/m ²	
No.5	◆ ゲムシタピン点滴静注液	1000 mg/m ²	

【投与開始前の目安】

項目	適正使用基準
PS	0~1
白血球数	≧ 12,000/mm ³
好中球数	≧ 1,500
血小板数	≧ 100,000
ヘモグロビン値	≧ 9.0g/dl
AST、ALT	≦ ULN × 2.5倍
T-Bil	≦ ULN × 1.25倍
末梢神経障害	≦ Grade1

【減量の目安】

項目	減量の目安	次回投与時
好中球数	< 500が7日間以上継続	1段階減量
血小板数	< 50,000	1段階減量
FN	発現(≧ Grade3)	1段階減量
末梢神経障害	≧ Grade3	アブラキサン1段階
口腔粘膜炎 下痢	≧ Grade3	1段階減量
皮疹	Grade2/3	1段階減量

【アブラキサン・ゲムシタピン用量調整基準】

day8		day15	
基準	両薬剤	基準	両薬剤
Neut>1,000 かつ Plt≧75,000	投与量変更なし	Neut>1,000かつPlt≧75,000	投与量変更なし
Neut>1,000 かつ 50,000≦Plt≦75,000	1段階下げて投与	Neut>1,000かつPlt≧75,000	投与前調整量に照して投与可
500≦Neut≦1,000 かつ Plt≧50,000	スキップ	Neut>1,000かつPlt≧75,000	day8の投与量を維持して投与
Neut<500 または Plt<50,000	スキップ	Neut>1,000またはPlt<50,000	投与スキップ
		Neut>1,000かつPlt≧75,000	投与量変更なし
		Neut>1,000かつPlt≧75,000	1段階下げて投与
		Neut>1,000またはPlt<50,000	投与スキップ
		Neut>1,000かつPlt≧75,000	1段階下げて投与
		Neut>1,000かつPlt≧75,000	1段階下げて投与
		Neut>1,000またはPlt<50,000	投与スキップ

【コース内の目安(day8・15)】

好中球数	> 1,000
血小板数	≧ 50,000
FN	認めない
口腔粘膜炎 下痢	≦ Grade2 または
末梢神経障害	G3発現後 ≦ Grade1

【次コース内の目安(day1)】

好中球数	≧ 1,500
血小板数	≧ 100,000
AST、ALT	≦ ULN × 2.5倍
FN	認めない
口腔粘膜炎 下痢	≦ Grade2 または
末梢神経障害	G3発現後 ≦ Grade1

【減量の目安】

減量段階	アブラキサン	ゲムシタピン
通常投与量	125mg/m ²	1,000mg/m ²
1段階減量	100mg/m ²	800mg/m ²
2段階減量	75mg/m ²	600mg/m ²